

令和元年度双葉会診療所事業報告・決算報告(抜粋)

総括

今年度は経営の安定化の為に、「経営コストの見直し」「診療所の環境改善」に努め、職場の問題点に気づき、情報を共有して職員一同向上出来る様取り組んだ。

「経営コストの見直し」では、職員が器具備品に対する考え方を改め、コストと利便性の両立を第一に多くの検討を重ね結果に結びつける様にした。

「診療所の環境改善」では院長(片倉)より感染予防についての環境改善案が上がり、不特定多数が触るスリッパへの履き替えを廃止し、感染予防対策を徹底した。また、職員同士の気付きにより、入居者の環境改善が見られた。

経営状態は、常勤医師1名、非常勤医師3名(月計4日)となっているが常勤医師は、多くの委託業務を抱えており、医師の確保は引き続き必要と考えられる。下記に前年度との比較表を掲載しているが、入院患者数と入院報酬は減。外来患者数はあまり変わらないが、外来報酬は増となっている。理由として、入院の長期化が考えられるが双葉会診療所の地域における役割と理念を維持しつつ今後の経営に繋げる工夫を検討する。外来(主に寿楽荘、琴清苑入居者)では人数の変動は少ないが、入居者の重症化があげられ、医師の尽力と職員の工夫で診療所の経営を支えている。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和2年3月31日
資産・負債の内訳		双葉会診療所
I	資産の部	***
1.	流動資産	***
	流動資産合計	53,381,058
2.	固定資産	***
	固定資産合計	6,784,239
	資産合計	60,165,297
II	負債の部	***
1.	流動負債	***
	流動負債合計	20,698,928
2.	固定負債	***
	固定負債合計	1,645,834
	負債合計	22,344,762
	差引純資産	37,820,535

拠点区分貸借対照表			令和2年3月31日
			双葉会診療所会計
		借方	貸方
	流動資産	53,381,058	
	固定資産	6,784,239	
	資産の部合計	60,165,297	
	流動負債		20,698,928
	固定負債		1,645,834
	負債の部合計		22,344,762
	基本金		0
	国庫補助金等特別積立金		0
	その他の積立金等		0
	次期繰越活動収支差額		37,820,535
	純財産の部		37,820,535
	負債・純財産の部合計		60,165,297

拠点区分資金収支計算書			(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日
勘定科目		双葉会診療所会計	
決算 の 状 況	事業活動	事業活動収入計①	119,748,479
		事業活動支出計②	75,764,576
		事業活動資金収支差額③(①-②)	43,983,903
	施設整備	施設整備等収入計④	0
		施設整備等支出計⑤	814,165
		施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	-814,165
	その他活動	その他の活動収入計⑦	0
		その他の活動支出計⑧	24,816,000
		その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	-24,816,000
		予備費⑩	0
	当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩		18,353,738
前期末支払資金残高⑫		14,426,139	
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)		32,779,877	

※ 会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。